



池袋図書館 月刊情報誌

ふくろう通信

2018年6月号

6月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2 ☀
3	4	5	6 😊	7	8	9 🎵
10 🎵	11	12	13	14	15	16 ☀
17	18	19	20	21	22	23 ☀
24	25	26	27	28	29	30 🎵

7月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4 😊	5	6	7 ☀
8	9	10	11 🎵	12	13	14 🎵
15	16	17	18	19	20	21 ☀
22	23 🎵	24	25	26	27	28 🎵
29 🎵	30 🎵	31				

- ☀マークのついている日はたんぽぽおはなしかいです。(午後2:30から2階ワークルームにて)
- 😊マークのついている日はあかちゃんおはなしかいです。(午前11:00から2階ワークルームにて)
- 🎵マークのついている日は工作会・スペシャルイベントがあります。(詳細は、次のページへ)

豊島区立池袋図書館

〒171-0014 豊島区池袋3-29-10

☎03-3985-7981

●開館時間●

平日 午前9:00～午後8:00

土・日・祝日 午前9:00～午後6:00

●休館日● (第1月曜日・第4金曜日・年末年始・特別館内整理日)

【6月】4日(月) 18日(月) 19日(火) 22日(金)

【7月】2日(月) 27日(金)



今月のめだま



今月の池袋図書館でのおすすめの催し物のご案内です！
お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。

たんぽぽ こうさくかい



おめが
たくさんふる
させつです

みんなで
てるてるぼうずを
つくりましょう！

にちじ 6がつ9にち どのような
2じ30ぶん から 3じ30ぶん
ぼしよ 2かいワークルーム



※おかわはいりません
いけぶくろとしょかん
03-3985-7486

たんぽぽ工作会

児童

6月9日(土)14:30~15:30

2階ワークルーム 申込不要

みんなで

てるてるぼうず を
つくりましょう！

池袋図書館 ギャラリートーク 乱歩と池袋



作家、江戸川乱歩は、半生を池袋で過ごしました。
乱歩が暮らした時代の池袋、この地で生み出された作品…
観覧していくと、あなたの知らない乱歩に、出会えるかも知れません。

日時 6月10日(日) 午後2時30分~3時30分

講師 入山洗希氏(立教大学大学院生)

場所 池袋第三区民集会室(池袋図書館隣)

定員 40名

申込み・費用 不要
問い合わせ：池袋区立池袋図書館 03-3985-7981
場所：立教大学江戸川乱歩記念人文研究所2F

乱歩と池袋

一般

6月10日(土)14:30~15:30

池袋第三区民集会室

申込不要 定員 40名

よんでみよう！やってみよう！
かがくのほん！～レンズのひみつ～



にちじ 6がつ30にち どのような
2じ30ぶん から 3じ30ぶん
ぼしよ いけぶくろだしょかんのどなか
(いけぶくろとしょかんのどなか)

※おかわはいりません
いけぶくろとしょかん 03-3985-7486

*よんでみよう！

やってみよう！

かがくのほん！*

6月30日(土)14:30~15:30

池袋第三区民集会室 申込不要

レンズには、どんな

ひみつがあるのかな？

児童

ふくろう博士の今月の調べてみよう！



今月のテーマ【雨の風景】



梅雨の季節になりました。移ろいやすい天気ですが、美しい色彩や雨景色など、この時期ならではの楽しみ方がありますね。みなさんは、どんな風景を思い浮かべますか？

1. 雨 —ぽつぽつ、ザーザー、しとしと…、雨の世界をのぞいてみよう！—

(一般)・『雨の名前』高橋順子/文 佐藤秀明/写真 小学館【451 タ】

・『お天気の世界 12ヶ月 —たのしく学ぼう—』池田洋人/著 東京堂出版【Y451 イ】

(児童)・『あめはどうしてふるの（絵本のおくりもの）』

串田孫一/文 高橋健司/写真 金の星社【X E1】

・『水は、』 山下大明/写真・文 福音館書店【452】

2. あじさい —あじさいの七変化は、雨の日の楽しい発見！—

(一般)・『アジサイの世界 —その魅力と楽しみ方—』

日本アジサイ協会・鎌倉アジサイ同好会/監修 家の光協会【627 ア】

・『花の旅 関東 —春夏秋冬名所案内 200カ所— (いい旅日帰り)』

山と溪谷社【G291 ハ】

(児童)・『花の色のふしぎ (科学のアルバム 植物 18)』佐藤有恒/著 あかね書房【471】

3. 虹 —梅雨の晴れ間の雨上がりの虹、いい事がおこりそう！—

(一般)・『光とは何か —虹のメカニズムから「透明マントまで」—』

江馬一弘/著 宝島社【425 エ】

(児童)・『いたずら博士の科学だいすき 2-6 虹をつくる —虹の見え方と光の性質—』

板倉聖宣・遠藤郁夫/著 小峰書店【408】

・『そもそもなぜをサイエンス 1 空はどうして青いのか』

大橋慶子/絵 村松しづ子/著 大月書店【451】

・『にじってなあに (子どもたのしいかがく)』

永田英治/文 伊藤美貴/絵 大日本図書【451】

*お探しの場合は、図書館スタッフまでお申し付けください。

【童謡 100 年】

7月1日は日本童謡協会により「童謡の日」と制定されています。この日は『赤い鳥』の創刊日。つまり“童話と童謡を創作する文学的運動”と位置づけられた『赤い鳥』の発刊をもって童謡の始まりとし、今年が童謡100年となります。『赤い鳥』では当初、童謡は必ずしも曲が付いていることを前提としてはおらず、子どもに向けた、あるいは子どもを描いた自由詩の一分野（童謡詩）と想定していたと考えられます。

しかし、『赤い鳥』に掲載された西條八十の『かなりや』に曲が付き、帝国劇場で初演されると大評判となりました。以降、今日までも歌い継がれるような名曲が作られていきました。今回は、そうした童謡詩の本をご紹介します。

『おまじない』 工藤直子／詩 長新太／絵 出版社国土社 【911 ク】

『銀河の子どもたち』 堀切利高・堀切リエ／編著 子どもの未来社 【911 ホ】

『からたちの花がさいたよ』 北原白秋／著 与田準一／編 岩波少年文庫 【JB キタ】

『美しい町』 金子みすゞ／著 矢崎節夫／監修 JULA 出版局 【911】

『1ねんせいになったら(うたのほん)』 まどみちお／詩 長新太／絵 理論社 【X 767】

『明日へー童謡誕生100年記念誌ー』 日本童謡協会 【767 アカ】

きょうか しょ ぼん よ

教科書本を読もう！

もり
『森へ』 星野道夫／文・写真

—6年生 国語 掲載—

カリブーやグリズリーなどアラスカの野生動物や植物、そこに暮らす人々を中心に、ダイナミックな写真、そして繊細な言葉で表現した写真家・エッセイストの星野道夫さん。教科書に掲載されている『森へ』は、南アラスカからカナダにかけて広がる原生林の様子を描いています。「森全体が、一つの生き物のように呼吸しているようでした」。星野さんは、人間も動物も自然の一部としてとらえ、その姿をたくさんの作品にまとめています。読むと、自分の心の中に潜む自然が息づき始めるようです。

指定管理者：(株) 図書館流通センター